

いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本



市制施行50周年を記念して「みらい懇談会提言書～夢と希望に満ちたこれからの守山」の一つに「読書日本一のまちづくり」が掲げられました。
 社会教育・文化振興課 ☎・☎(582)1142 ☎(581)2733
 市立図書館 ☎・☎(583)1639 ☎(583)6949

質問 「読書日本一のまち」って、どんなまちなのかな？

答 「読書が好き」と言える人が溢れるまちです



読書日本一のまちを目指す中心(拠点)となる市立図書館 ①外観 ②内部

市や市立図書館が目指す「読書日本一のまち」とは、「本と人が出会い、人と人がつながる知の広場」をコンセプトに整備された市立図書館を中心に、たくさんの人に「読書が好き」「読書は楽しい」と言ってもらえるまち、深く読書に関わり、心豊かな生活や人生を送る人たちが溢れているまちです。

市や市立図書館は「読書日本一のまち」を目指してさまざまな取り組みを進めています。

今回から「本との出会いや読書のきっかけ作り」「読書環境の充実」「講演会や講座の開催」「多様な文化活動や芸術活動を支援」など、取り組みの詳細を紹介していきます。

佐川美術館 アートコラム④

美術館で恐竜展!?

公益財団法人佐川美術館
学芸統括：井上英明



突然ですが、皆さんは「美術館」と「博物館」の違いを「ご存じでしょうか。広義の意味では「美術館」も「博物館」の一種(専門博物館)に含まれますが、ここで挙げた2つの違いを簡単に言えば、「美術館」は絵画、彫刻、工芸などの美術品を収集・保管・展示・研究するところ、「博物館」は考古、歴史、民俗、芸術、科学などの学術的資料を収集・保管・展示・研究するところになります。

また、展示においても「美術館」の場合は、美術鑑賞をメインとしているため、極端に用語解説などの説明を省く傾向にあるのに対し、「博物館」の場合は、用語解説や関連資料の紹介など、学術的な説明による学びの場を提供するといった違いもあります。

しかし、近年では「美術館」と「博物館」の垣根を超えた企画展が数多く開催され、佐川美術館でも今春の展覧会で、従来であれば「博物館」で開催される「恐竜」をテーマにした企画展を開催します。

ここでようやくタイトルにある「美術館で恐竜展!?!」に行きつくわけですが、皆さんも「美術品が展示される空間に恐竜って…」と思われるかもしれませんが、

確かに少々違和感を覚えてしまっていますが、そこはあえて「美術館」という空間で、復元された恐竜の全身骨格標本が展示されている情景を思い浮かべてください。何となく恐竜の骨が「美術品」のように感じてきませんか。百聞は一見に如かず、アート空間に展示された遙か太古の世界に君臨した恐竜たちを、ぜひご覧下さい。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話【☎(585)7800】でお問い合わせください。